

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	町家活用推進事業			シート番号	A 一般事務事業 08-58
担当部署名	文化観光	局	文化	部	文化財 課 評価責任者(課長名) 鹿野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	4	歴史・文化資源を活かしたまちの賑わいの創出	有
	2	事業開始年度	平成 14 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	文化財保護法 堺市文化財保護条例 地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律 堺市立町家歴史館条例			
	4	関連計画	堺市歴史的風致維持向上計画			
5	事業実施の経緯	町家歴史館山口家住宅は保存修理工事を経て平成21年に、清学院は平成23年に開館した。本市内にはそれらの建物の他にも、豊富な歴史・文化資源が伝わっているものの、維持管理に多くの費用と手間がかかることや所有者の高齢化等により歴史的な建造物は急速に滅失し、良好な歴史的景観が失われつつある状況にあることから、平成25年には「堺市歴史的風致維持向上計画」を策定し、歴史文化資源の保存活用に着手した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	市民及び見学者				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	古来から引き継いできた豊かな歴史・文化資源について、すべての市民が貴重なまちの資産として認識を共有し、その価値を守り、より高めて次世代へ受け継ぐことができるまちづくりを行うことを目的とする。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・堺の町家暮らしを伝える町家歴史館(重要文化財山口家住宅、登録有形文化財清学院)の魅力ある運営。 ・鉄砲鍛冶屋敷の保存修理工事にに向けた設計業務に着手(令和元年9月末に完了予定)。 ・平成25年11月22日に認定された「堺市歴史的風致維持向上計画」において、百舌鳥古墳群及び周辺区域と環濠都市区域を重点区域として位置づけ、国の交付金等を受けつつ、歴史文化資源について整備を行う。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					
		委託業者					

Ⅲ. 投入量

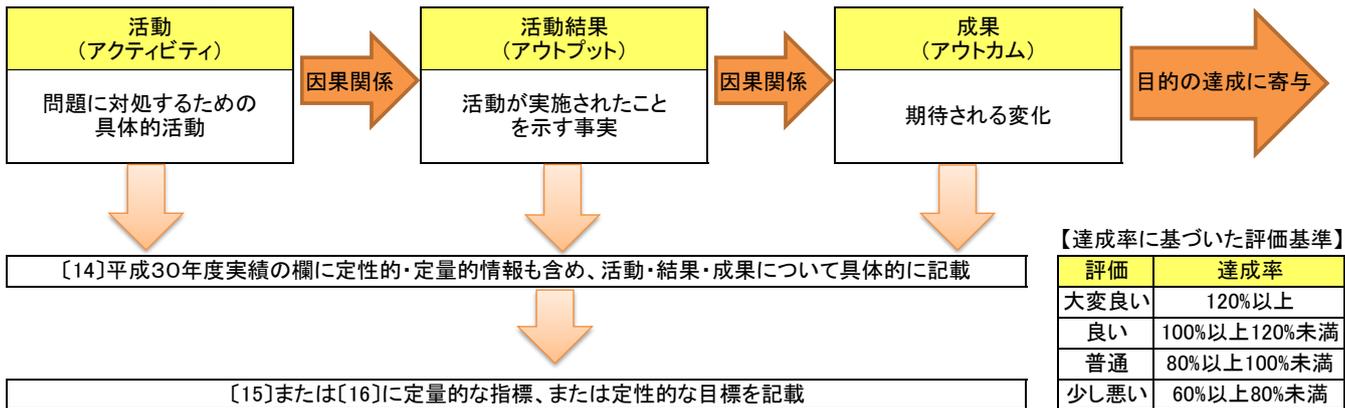
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	21,225	170,137	31,809	45,261	
	主な事業費内訳	委託料	千円	17,435	13,539	17,129	17,228
		賃金	千円	0		0	2,290
		鉄砲鍛冶屋敷整備事業費	千円		153,759	10,679	22,380
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円	0	76,669	4,945	11,189
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	1,093	1,074	1,229	1,267
		市債	千円	0	68,800	4,300	10,000
		その他(寄附金)	千円		20		
		一般財源	千円	20,132	23,574	21,335	22,805
	12	人件費 (b)	千円	10,660	13,940	15,170	14,985
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	31,885	184,077	46,979	60,246	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	町家活用推進事業	シート番号	08-58
-------	----------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	町家歴史館山口家住宅・清学院では、毎月ごとに季節のしつらいや伝統産業の展示等を行い、歴史文化を活かした展示で集客を図った。季節のしつらいとしては、生け花展示やひな飾りをはじめとする展示を104回、また伝統産業では、注染など本市にゆかりの伝統産業等の展示を19回と関連するワークショップの開催などを実施した。						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		堺市立町家歴史館山口家住宅等展示回数	回	目標値	140	140	140	140
				実績値	140	124	123	
				達成率	100%	89%	88%	
	評価			良い	普通	普通		
	算出方法・設定根拠など		生け花展示52回(1か所)×2か所+各種展示20回					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		堺市立町家歴史館山口家住宅等入館者数	人	目標値	25,000	25,000	25,000	25,000
				実績値	19,762	18,302	15,936	
				達成率	79%	73%	64%	
	評価			少し悪い	少し悪い	少し悪い		
	算出方法・設定根拠など		山口家、清学院総入館者数実数					

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
町家歴史館山口家住宅、清学院ともに入館者数が減少傾向にある。清学院では堺観光ボランティア協会協力による新たな試みを行ったが、入館者数の獲得にはつながっていない。清学院に隣接する堺市指定有形文化財井上関右衛門家住宅(鉄砲鍛冶屋敷)の買収が平成29年度末に完了したため、文化財の保護と共に、集客性のある施設としての整備が急がれる。	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。